

## 「技師スキルアップへの取り組み」

次世代を担う若手技師のスキルアップへの取り組み

◎加藤 雄大<sup>1)</sup>JA 愛知厚生連 豊田厚生病院<sup>1)</sup>

臨床検査技師には多岐にわたる専門分野の各学会や団体が認める『認定資格』があり、臨床検査技師のスキルを『目に見える形』にするために認定資格の取得に励む技師も少なくない。認定資格を取得することは臨床検査技師として必要な知識を身に付けることやスキルの向上につながり、臨床検査技師としてのスキルアップにつながる。

JA 愛知厚生連は愛知県下に 8 病院が存在し、総勢 300 名程度の臨床検査技師が所属している愛知県内でも大きな組織の一つである。JA 愛知厚生連の臨床検査技師会は 6 つの専門部会とそれらを束ねる教育研修部会があり、様々な活動を行っている。その活動の一つとして 2019 年度より緊急臨床検査士の資格取得支援を開始し、2023 年度で 4 回目の資格取得支援を行った。緊急臨床検査士は資格取得者が多い資格の一つで、夜間や休日の緊急時などにも医師の指導のもとでさまざまな臨床検査が正しく行えることを証明する資格であり、就職後数年目の若手技師が取得を目指す傾向にある資格である。緊急臨床検査士の資格を取得することにより、夜間や休日の緊急時においても自信を持って検査業務をこなせる判断力やスキルを身に付けることが可能である。緊急臨床検査士の資格を取得することで複数部門の基礎的な知識が身に付き、幅広い視野を持って業務に取り組むことができる。その結果、より精度の高い検査結果の報告が可能となる。また、早い段階で資格試験を経験することで、今後より専門性の高い資格取得を目指すきっかけにもつながっている。さらに、JA 愛知厚生連全体で取り組む事により、若手技師の知識・技能・意識向上とともに 8 病院の臨床検査室全体の活性化にもつながっている。その他にも各種専門資格の取得支援や JA 愛知厚生連共通の教育プログラムの作成なども行っており、これらの活動についても報告する。

当院では若手技師のスキルアップの一環として 2017 年度より『寺子屋』を開講している。寺子屋では、『検査値を読むトレーニング（医学書院）』をテキストとし、若手技師が主体となって勉強会を開催している。検査データを読む能力の向上や日頃のコミュニケーションの場として疑問点を解消する事にもつながっている。検査データを点でとらえる R-CPC ではなく、時系列データとして線でとらえる R-CPC を用いて行う事で自分自身が担当している部門以外の検査データにも目を向けることができるようになり、広い視野を持って業務に取り組むことにつながっている。

今回は『JA 愛知厚生連の緊急臨床検査士 取得支援』と『寺子屋』を中心とし、『若手技師のスキルアップ』と『今、求められる臨床検査技師と検査室』について考えるきっかけとしたい。

連絡先：0565-43-5000（内線：2981）